

**10月校長講話:『結果より大切な「過程」の宝物』**

これから秋が深まるにつれて、皆さんには大きな行事やイベントが待っていますね。小学生は、心待ちにしている福岡方面への修学旅行、そして日頃の練習の成果を発揮する「小体会（パラスポーツ大会）」があります。中学生は、仲間と心をつなげて取り組む「体育祭」があります。

どの行事も、これまで時間をかけて準備し協力しながら練習を重ねてきたことと思います。

ここで、皆さんに一つ心に留めておいてほしいことがあります。それは、行事や大会において最も大切なのは「結果」だけではなく「それまでの過程（プロセス）」である、ということです。

もちろん、試合で勝ったり、最高のパフォーマンスができたりする「結果」はとても嬉しいものです。しかし、本当に皆さんを大きく成長させ、これからの人生の糧となるのは、そこにたどり着くまでに「どう努力したか」「仲間とどう向き合ったか」という「過程」です。

友達と意見がぶつかったときに話し合ったこと。練習がうまくいなくても、あきらめずに何度も挑戦したこと。仲間を思いやり、支え合ったこと。

そうした日々の「過程」を大切にしていれば、最後に「やりきった！」「頑張ったよかった！」という「成就感（じょうじゅかん）」や「達成感」が得られます。この「自分はやりとげた」という気持ちこそが、皆さんの一生の宝物になります。

それぞれの場所で一人ひとりが「過程」を大切に、終わったときには全員が笑顔で「成就感」にあふれた表情を見せてくれることを楽しみにしています。

